

氏 名	渡壁 晃		専 攻	社会学専攻
			指導教授	難波 功士 教授
研究領域	歴史社会学、計量社会学、戦争社会学、記憶の社会学			
研究題目	原爆の社会的記憶の歴史社会学			
所属学会	日本社会学会、関西社会学会、戦争社会学研究会、数理社会学会、社会学研究会、観光学術学会			
学 歴 (学部入学から)	2014年4月 関西学院大学社会学部社会学科 入学 2018年3月 関西学院大学社会学部社会学科 卒業 2018年4月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程 入学 2020年3月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程 修了 2020年4月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程後期課程 入学 現在に至る			
教 歴 担当授業科目	2015年度 関西学院大学社会学部 LA (担当科目：基礎演習) 2016年度～2017年度 関西学院大学社会学部 LA (担当科目：基礎演習 B) 2017年度 関西学院大学社会学部 LA (担当科目：比較社会演習 B) 2019年度 関西学院大学社会学部 TA (担当科目：社会調査実習) 2022年度～現在 関西学院大学社会学部非常勤講師 (担当科目：基礎演習 A、基礎演習 B) 2023年度～現在 姫路獨協大学非常勤講師 (担当科目：基礎数理)			
研 究 業 績				
著書、論文、翻訳、研究報告等題 名	発表年月	掲載誌または発表場所	備 考	
【論文】 「(原爆)の記憶の継承における『当事者』」	2019年3月	『KG 社会学批評』第8号、27-37頁。	書評論文 単著 査読有	
「広島における原爆関連行事の通時的変化(一)」	2021年3月	『関西学院大学社会学部紀要』第136号、87-101頁。	単著 査読なし	
「広島・長崎平和宣言からみた平和意識の変容」	2021年9月	『社会学評論』286号、118-134頁。	単著 査読有	
「広島における原爆関連行事の通時的変化(二)」	2021年10月	『関西学院大学社会学部紀要』第137号、113-132頁。	単著 査読なし	
「広島における原爆関連行事の通時的変化(三)」	2022年3月	『関西学院大学社会学部紀要』第138号、113-133頁。	単著 査読なし	
『「平和」を表現する方法——広島における原爆関連行事の社会史』	2023年2月	『ソシオロジ』206号、3-21頁。	単著 査読有	
「長崎における原爆関連行事の通時的変化(一)」	2023年3月	『関西学院大学社会学部紀要』第140号、123-137頁。	単著 査読なし	
(次ページへ)				

<p>『先輩』慰霊の形成と展開——広島市における原爆関連慰霊行事の通時的分析」</p>	<p>2023年6月 (予定)</p>	<p>『戦争社会学研究』第7巻、ページ数未定。</p>	<p>単著 査読有(採録決定済み)</p>
<p>【研究ノート】 「ドイツ・ベルリンの「虐殺されたヨーロッパのユダヤ人のための記念碑」に関する新聞報道の量的変化：冷戦後のドイツにおけるホロコースト」</p>	<p>2021年3月</p>	<p>『関西学院大学先端社会研究所紀要』第18号、85-91頁。</p>	<p>単著 査読なし</p>
<p>【学位論文】 「広島はヒロシマにどのように向き合ってきたのか——ヒロシマに関する行事と『生者—死者』の関係性について」</p>	<p>2018年1月</p>	<p>関西学院大学社会学部 卒業論文</p>	<p>「社会学部優秀論文賞(安田賞)」(関西学院大学社会学部)受賞</p>
<p>「ヒロシマに関する行事の歴史社会学——社会における『平和』の通時的変化を中心に」</p>	<p>2020年1月</p>	<p>関西学院大学大学院社会学研究科 修士論文</p>	
<p>【研究報告】 「ダークツーリズム論の課題と可能性」</p>	<p>2017年7月</p>	<p>観光学会 第6回大会(神戸山手大学)</p>	<p>ポスター発表(単独)</p>
<p>「広島はヒロシマにどのように向き合ってきたのか——ヒロシマに関する行事と『生者—死者』の関係性について」</p>	<p>2018年6月</p>	<p>第69回関西社会学会大会(松山大学)</p>	<p>口頭発表(単独)</p>
<p>Recalling “catastrophe”: An analysis of the events relating to the Atomic Bomb of Hiroshima (次ページへ)</p>	<p>2018年6月</p>	<p>2nd Postgraduate Conference in Japanese Studies (Kwansei Gakuin University)</p>	<p>ポスター発表(単独)</p>

<p>「平和宣言の計量テキスト分析— —広島長崎両市の市長声明にみる 『平和』の通時的変容」</p>	<p>2020年7月</p>	<p>第11回戦争社会学研究会大会 (オンライン)</p>	<p>口頭発表 (単独) 新型コロナウイルスの影響 で4月の大会が 中止となった 代替措置とし て例会で報告 (業績として は大会発表扱 い)</p>
<p>「被爆地における平和意識の変容 —広島・長崎平和宣言の計量テキ スト分析」</p>	<p>2020年9月</p>	<p>第69回数理社会学会大会(オ ンライン)</p>	<p>ポスター発表 (単独)</p>
<p>「平和式典におけることばの計量 テキスト分析—ヒロシマ・ナガサ キからみた戦後日本の『平和』意識 の変容」</p>	<p>2020年10月</p>	<p>第71回関西社会学会大会(オ ンライン)</p>	<p>口頭発表 (単独)</p>
<p>「平和宣言の計量的分析—戦後 の広島・長崎における平和意識」</p>	<p>2020年10月</p>	<p>第93回日本社会学会大会(オ ンライン)</p>	<p>口頭発表 (単独)</p>
<p>「広島における『先輩慰霊の形成と 展開—原爆関連慰霊行事の通時 的分析」</p>	<p>2022年4月</p>	<p>第13回戦争社会学研究会大会 (オンライン)</p>	<p>口頭発表 (単独)</p>
<p>「原水禁運動から平和教育、そして 芸術・スポーツへ—広島における 原爆に関する行事の社会史」</p>	<p>2022年5月</p>	<p>第73回関西社会学会大会(オ ンライン)</p>	<p>口頭発表 (単独)</p>
<p>「戦争死者慰霊における「先輩—後 輩」関係—広島市内の原爆関連慰 霊行事の通時的分析」</p>	<p>2022年11月</p>	<p>第95回日本社会学会大会(追 手門学院大学)</p>	<p>口頭発表 (単独)</p>
<p>「新聞記事からみた原爆の記憶— —原爆忌前後の『中国新聞』と『長 崎新聞』の報道における原爆関連行 事を事例に」</p>	<p>2023年1月</p>	<p>第52回大阪メディア文化史研 究会(同志社大学)</p>	<p>口頭発表 (単独)</p>
<p>「平和運動の脱政治化と若年化— —長崎における原爆に関する行事 の社会史」</p> <p>(次ページへ)</p>	<p>2023年5月</p>	<p>第74回関西社会学会大会(京 都先端科学大学)</p>	<p>口頭発表 (単独)</p>

<p>【報告書】 『同化』から『応化』へ——沖縄・本土関係の歴史的変容」</p> <p>「近代国家と戦争の記憶——第2次世界大戦におけるホロコーストを事例に」</p>	<p>2017年3月</p> <p>2020年3月</p>	<p>渡壁晃・塚本顕成編, 2017, 『「多民族共生」社会について～フィールドワークを通じた日台比較～』関西学院大学社会学部.</p> <p>『関西学院大学先端社会研究所紀要』第17号、112-113頁。</p>	<p>単著 平成26年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業2016年度比較社会演習A報告書</p> <p>単著 2019年度先端社会研究所リサーチコンペ中間報告</p>
---	-------------------------------	---	---